

(別冊 2)

# 事業報告書

平成 2 6 年度  
(第 1 1 期事業年度)

自：平成 2 6 年 4 月 1 日  
至：平成 2 7 年 3 月 3 1 日

独立行政法人 国立病院機構



# 独立行政法人国立病院機構 平成26年度事業報告書

## 1. 国民の皆様へ

独立行政法人国立病院機構（以下「機構」という。）は、全国143の病院を一つの法人として運営しており、診療事業としては、結核、重症心身障害、筋ジストロフィー、神経難病患者等に対する医療、心神喪失者等医療観察法に基づく医療など、他の設置主体では必ずしも実施されないおそれのある医療を提供するとともに、都道府県が策定する医療計画を踏まえ、5疾病5事業及び在宅医療を中心に地域医療の向上に積極的に取り組んでおります。

また、医療の質を定量的に評価するために、現行の臨床評価指標を全体的に検証・修正を行った上で新たな指標を開発するとともに、本臨床評価指標を継続的に計測・公表し、PDCAサイクルに基づく医療の質改善プログラムを行い、我が国の医療の質の向上や標準化に貢献する取組を推進しております。

また、災害時には、被災地へDMAT、医療班等を派遣するなど、被災地の医療の確保に積極的に取り組んでいるところですが、これに加えて災害急性期における情報収集、医療救護活動等を行う初動医療班の研修を実施する等引き続き災害対応体制の充実を図っております。さらに、新型インフルエンザ等発生時に、地方公共団体等と相互に連携協力し円滑かつ適切な医療活動を行うため、国立病院機構新型インフルエンザ等対策に関する業務計画を策定しており、各病院でも診療継続計画を作成し訓練を行っております。

臨床研究事業としては、EBM（根拠に基づく医療）研究の推進など臨床現場と一体となった大規模臨床研究を実施するとともに、医師主導治験をはじめ迅速で質の高い治験を推進しております。

また、ICTの分野において機構全体で医療情報データベースを構築し、研究や医療の質向上を図るとともに、情報集積技術の発展に取り組んでいるところですが、その取り組みを踏まえ、我が国の情報標準化の普及促進に貢献することを目的とした情報基盤構築のプロジェクトに取り組むこととしております。

教育研修事業としては、チーム医療の推進のための研修、災害医療研修及びネットワークを活用したNHQフェロシップなど、臨床・研究と一体となった質の高い医療従事者の育成に取り組んでおります。特に、東京医療保健大学との連携により全国に先駆けて、クリティカル領域における「診療看護師（JNP）」の育成に取り組む、臨床現場で43名が活躍しております。

上記の取組を進めるとともに、安定的な経営基盤の構築に向けて事業の効率化を図り、平成26年度においても経常収支で収支相償を達成しました。

## 2. 法人の基本情報

### (1) 法人の概要

#### ① 目的

独立行政法人国立病院機構は、医療の提供、医療に関する調査及び研究並びに技術者の研修等の業務を行うことにより、国民の健康に重大な影響のある疾病に関する医療その他の医療であって、国の医療政策として機構が担うべきものの向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的としております。（独立行政法人国立病院機構法第3条）

#### ② 業務内容

当法人は、国立病院機構法第3条の目的を達成するため、以下の業務を行います。

- I 医療を提供すること。
- II 医療に関する調査及び研究を行うこと。
- III 医療に関する技術者の研修を行うこと。
- IV I から III に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。

#### ③ 沿革

平成16年4月 特定独立行政法人として設立  
平成27年4月 中期目標管理法人へ移行

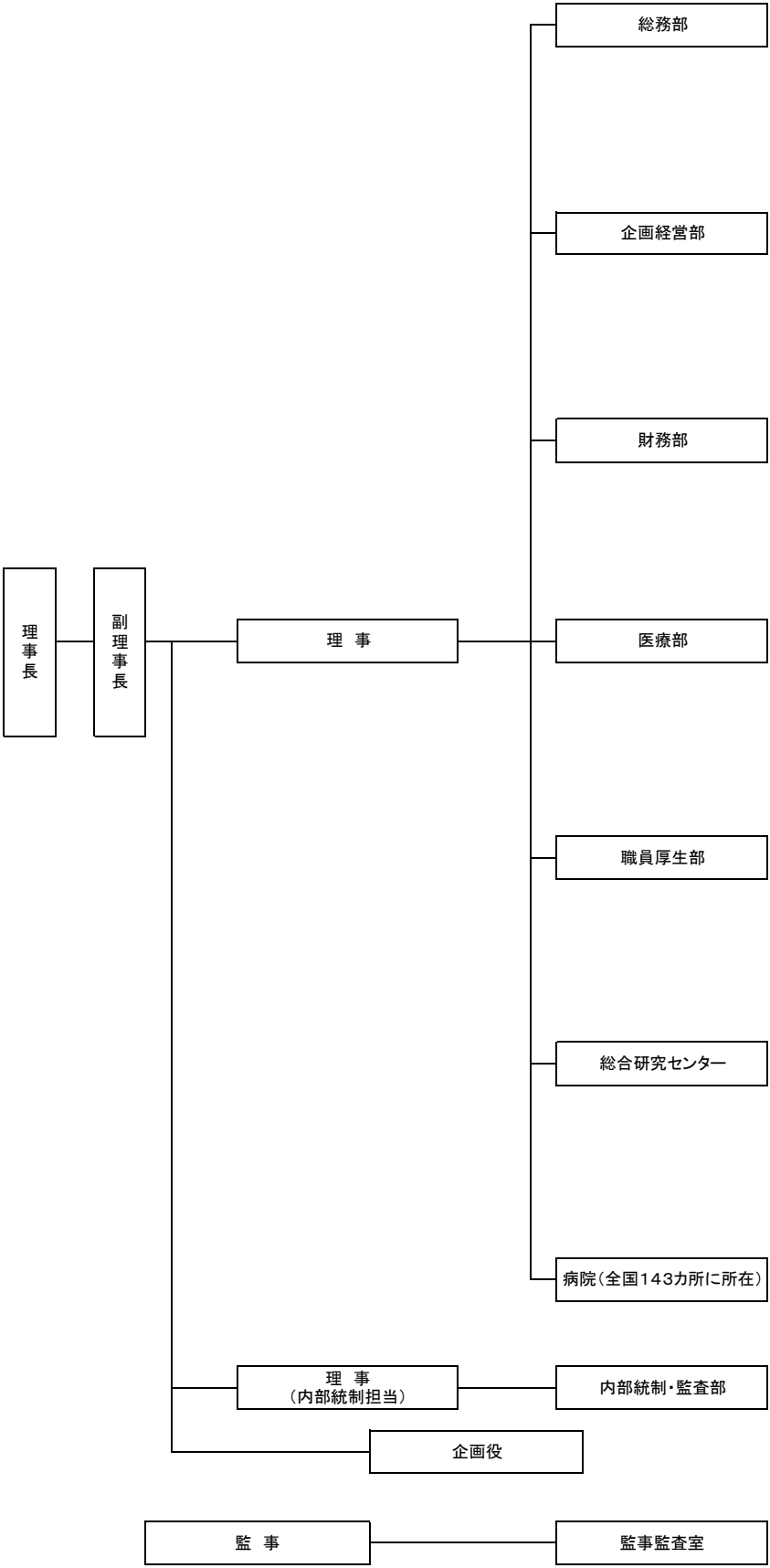
#### ④ 設立根拠法

独立行政法人国立病院機構法（平成14年法律第191号）

#### ⑤ 主務大臣

厚生労働大臣（厚生労働省医政局医療経営支援課）

⑥国立病院機構組織図（平成27年4月1日）



(2) 本部、病院の所在地（平成27年4月1日現在）

[本部]

本部 : 東京都目黒区東が丘2-5-21

[病院]

|                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 北海道がんセンター          | : 北海道札幌市白石区菊水4条2-3-54     |
| 北海道医療センター          | : 北海道札幌市西区山の手5条7-1-1      |
| 函館病院               | : 北海道函館市川原町18-16          |
| 旭川医療センター           | : 北海道旭川市花咲町7-4048         |
| 帯広病院               | : 北海道帯広市西18条北2-16         |
| 八雲病院               | : 北海道二世郡八雲町宮園町128         |
| 弘前病院               | : 青森県弘前市大字富野町1            |
| 八戸病院               | : 青森県八戸市吹上3-13-1          |
| 青森病院               | : 青森県青森市浪岡大字女鹿沢字平野155-1   |
| 盛岡病院               | : 岩手県盛岡市青山1-25-1          |
| 花巻病院               | : 岩手県花巻市諏訪500             |
| 岩手病院               | : 岩手県一関市山目字泥田山下48         |
| 釜石病院               | : 岩手県釜石市定内町4-7-1          |
| 仙台医療センター           | : 宮城県仙台市宮城野区宮城野2-8-8      |
| 仙台西多賀病院            | : 宮城県仙台市太白区鉤取本町2-11-11    |
| 宮城病院               | : 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100      |
| あきた病院              | : 秋田県由利本荘市岩城内道川字井戸ノ沢84-40 |
| 山形病院               | : 山形県山形市行才126-2           |
| 米沢病院               | : 山形県米沢市大字三沢26100-1       |
| 福島病院               | : 福島県須賀川市芦田塚13            |
| いわき病院              | : 福島県いわき市平豊間字兎渡路291       |
| 水戸医療センター           | : 茨城県東茨城郡茨城町桜の郷280        |
| 霞ヶ浦医療センター          | : 茨城県土浦市下高津2-7-14         |
| 茨城東病院              | : 茨城県那珂郡東海村照沼825          |
| 栃木医療センター           | : 栃木県宇都宮市中戸祭1-10-37       |
| 宇都宮病院              | : 栃木県宇都宮市下岡本町2160         |
| 高崎総合医療センター         | : 群馬県高崎市高松町36             |
| 沼田病院               | : 群馬県沼田市上原町1551-4         |
| 西群馬病院              | : 群馬県渋川市金井2854            |
| 西埼玉中央病院            | : 埼玉県所沢市若狭2-1671          |
| 埼玉病院               | : 埼玉県和光市諏訪2-1             |
| 東埼玉病院              | : 埼玉県蓮田市大字黒浜4147          |
| 千葉医療センター           | : 千葉県千葉市中央区椿森4-1-2        |
| 千葉東病院              | : 千葉県千葉市中央区仁戸名町673        |
| 下総精神医療センター         | : 千葉県千葉市緑区辺田町578          |
| 下志津病院              | : 千葉県四街道市鹿渡934-5          |
| 東京医療センター           | : 東京都目黒区東が丘2-5-1          |
| 災害医療センター           | : 東京都立川市緑町3256            |
| 東京病院               | : 東京都清瀬市竹丘3-1-1           |
| 村山医療センター           | : 東京都武蔵村山市学園2-37-1        |
| 横浜医療センター           | : 神奈川県横浜市戸塚区原宿3-60-2      |
| 久里浜医療センター          | : 神奈川県横須賀市野比5-3-1         |
| 箱根病院               | : 神奈川県小田原市風祭412           |
| 相模原病院              | : 神奈川県相模原市南区桜台18-1        |
| 神奈川病院              | : 神奈川県秦野市落合666-1          |
| 西新潟中央病院            | : 新潟県新潟市西区真砂1-14-1        |
| 新潟病院               | : 新潟県柏崎市赤坂町3-52           |
| さいがた医療センター         | : 新潟県上越市大潟区犀潟468-1        |
| 甲府病院               | : 山梨県甲府市天神町11-35          |
| 東長野病院              | : 長野県長野市上野2-477           |
| まつもと医療センター(松本病院)   | : 長野県松本市村井町南2-20-30       |
| まつもと医療センター(中信松本病院) | : 長野県松本市大字寿豊丘811          |

|                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| 信州上田医療センター      | : 長野県上田市緑が丘1-27-21    |
| 小諸高原病院          | : 長野県小諸市甲4598         |
| 富山病院            | : 富山県富山市婦中町新町3145     |
| 北陸病院            | : 富山県南砺市信末5963        |
| 金沢医療センター        | : 石川県金沢市下石引町1-1       |
| 医王病院            | : 石川県金沢市岩出町ニ73-1      |
| 七尾病院            | : 石川県七尾市松百町八部3-1      |
| 石川病院            | : 石川県加賀市手塚町サ150       |
| 長良医療センター        | : 岐阜県岐阜市長良1300-7      |
| 静岡てんかん・神経医療センター | : 静岡県静岡市葵区漆山886       |
| 静岡富士病院          | : 静岡県富士宮市上井出814       |
| 天竜病院            | : 静岡県浜松市浜北区於呂4201-2   |
| 静岡医療センター        | : 静岡県駿東郡清水町長沢762-1    |
| 名古屋医療センター       | : 愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1   |
| 東名古屋病院          | : 愛知県名古屋市名東区梅森坂5-101  |
| 東尾張病院           | : 愛知県名古屋市守山区大森北2-1301 |
| 豊橋医療センター        | : 愛知県豊橋市飯村町字浜道上50     |
| 三重病院            | : 三重県津市大里窪田町357       |
| 鈴鹿病院            | : 三重県鈴鹿市加佐登3-2-1      |
| 三重中央医療センター      | : 三重県津市久居明神町2158-5    |
| 榑原病院            | : 三重県津市榑原町777         |
| 敦賀医療センター        | : 福井県敦賀市桜ヶ丘町33-1      |
| あわら病院           | : 福井県あわら市北潟238-1      |
| 東近江総合医療センター     | : 滋賀県東近江市五智町255       |
| 紫香楽病院           | : 滋賀県甲賀市信楽町牧997       |
| 京都医療センター        | : 京都府京都市伏見区深草向畑町1-1   |
| 宇多野病院           | : 京都府京都市右京区鳴滝音戸山町8    |
| 舞鶴医療センター        | : 京都府舞鶴市字行永2410       |
| 南京都病院           | : 京都府城陽市中芦原11         |
| 大阪医療センター        | : 大阪府大阪府中央区法円坂2-1-14  |
| 近畿中央胸部疾患センター    | : 大阪府堺市北区長曾根町1180     |
| 刀根山病院           | : 大阪府豊中市刀根山5-1-1      |
| 大阪南医療センター       | : 大阪府河内長野市木戸東町2-1     |
| 神戸医療センター        | : 兵庫県神戸市須磨区西落合3-1-1   |
| 姫路医療センター        | : 兵庫県姫路市本町68          |
| 兵庫青野原病院         | : 兵庫県小野市南青野           |
| 兵庫中央病院          | : 兵庫県三田市大原1314        |
| 奈良医療センター        | : 奈良県奈良市七条2-789       |
| やまと精神医療センター     | : 奈良県大和郡山市小泉町2815     |
| 南和歌山医療センター      | : 和歌山県田辺市たきない町27-1    |
| 和歌山病院           | : 和歌山県日高郡美浜町大字和田1138  |
| 鳥取医療センター        | : 鳥取県鳥取市三津876         |
| 米子医療センター        | : 鳥取県米子市車尾4-17-1      |
| 松江医療センター        | : 島根県松江市上乃木5-8-31     |
| 浜田医療センター        | : 島根県浜田市浅井町777-12     |
| 岡山医療センター        | : 岡山県岡山市北区田益1711-1    |
| 南岡山医療センター       | : 岡山県都窪郡早島町早島4066     |
| 呉医療センター         | : 広島県呉市青山町3-1         |
| 福山医療センター        | : 広島県福山市沖野上町4-14-17   |
| 広島西医療センター       | : 広島県大竹市玖波4-1-1       |
| 東広島医療センター       | : 広島県東広島市西条町寺家513     |
| 賀茂精神医療センター      | : 広島県東広島市黒瀬町南方92      |
| 関門医療センター        | : 山口県下関市長府外浦町1-1      |
| 山口宇部医療センター      | : 山口県宇部市東岐波685        |
| 岩国医療センター        | : 山口県岩国市愛宕町1-1-1      |
| 柳井医療センター        | : 山口県柳井市伊保庄95         |
| 東徳島医療センター       | : 徳島県板野郡板野町大寺字大向北1-1  |
| 徳島病院            | : 徳島県吉野川市鴨島町敷地1354    |

|                  |                        |
|------------------|------------------------|
| 高松医療センター         | : 香川県高松市新田町乙8          |
| 四国こどもとおとなの医療センター | : 香川県善通寺市仙遊町2-1-1      |
| 四国がんセンター         | : 愛媛県松山市南梅本町甲160       |
| 愛媛医療センター         | : 愛媛県東温市横河原366         |
| 高知病院             | : 高知県高知市朝倉西町1-2-25     |
| 小倉医療センター         | : 福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘10-1   |
| 九州がんセンター         | : 福岡県福岡市南区野多目3-1-1     |
| 九州医療センター         | : 福岡県福岡市中央区地行浜1-8-1    |
| 福岡病院             | : 福岡県福岡市南区屋形原4-39-1    |
| 大牟田病院            | : 福岡県大牟田市大字橘1044-1     |
| 福岡東医療センター        | : 福岡県古賀市千鳥1-1-1        |
| 佐賀病院             | : 佐賀県佐賀市日の出1-20-1      |
| 肥前精神医療センター       | : 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津160     |
| 東佐賀病院            | : 佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀7324 |
| 嬉野医療センター         | : 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿丙2436   |
| 長崎病院             | : 長崎県長崎市桜木町6-41        |
| 長崎医療センター         | : 長崎県大村市久原2-1001-1     |
| 長崎川棚医療センター       | : 長崎県東彼杵郡川棚町下組郷2005-1  |
| 熊本医療センター         | : 熊本県熊本市中央区二の丸1-5      |
| 熊本南病院            | : 熊本県宇城市松橋町豊福2338      |
| 菊池病院             | : 熊本県合志市福原208          |
| 熊本再春荘病院          | : 熊本県合志市須屋2659         |
| 大分医療センター         | : 大分県大分市横田2-11-45      |
| 別府医療センター         | : 大分県別府市大字内竈1473       |
| 西別府病院            | : 大分県別府市大字鶴見4548       |
| 宮崎東病院            | : 宮崎県宮崎市大字田吉4374-1     |
| 都城医療センター         | : 宮崎県都城市祝吉町5033-1      |
| 宮崎病院             | : 宮崎県児湯郡川南町大字川南19403-4 |
| 鹿児島島医療センター       | : 鹿児島県鹿児島市城山町8-1       |
| 指宿医療センター         | : 鹿児島県指宿市十二町4145       |
| 南九州病院            | : 鹿児島県始良市加治木町木田1882    |
| 沖縄病院             | : 沖縄県宜野湾市我如古3-20-14    |
| 琉球病院             | : 沖縄県国頭郡金武町字金武7958-1   |

(注) 各名称には、「独立行政法人国立病院機構」が付されている。

## (3) 純資産の状況

(単位：百万円)

| 区 分            | 期首残高    | 当期増加額  | 当期減少額 | 期末残高    |
|----------------|---------|--------|-------|---------|
| 政府出資金          | 208,175 | 0      | 124   | 208,051 |
| 資本剰余金          | 222,833 | △10    | 298   | 222,526 |
| 利益剰余金(△：繰越欠損金) | 1,817   | 11,711 | 1,817 | 11,711  |
| 純資産合計          | 432,825 | 11,701 | 2,238 | 442,288 |

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

## (4) 役員の状況

(平成27年4月1日現在)

| 職 名          | 氏 名     | 任 期                            | 担 当   | 経 歴                                                                  |
|--------------|---------|--------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------|
| 理 事 長        | 桐 野 高 明 | 自 平成24年 4月 1日<br>至 平成28年 3月31日 |       | 平成22年4月<br>国立国際医療研究センター理事長<br>平成24年4月<br>(現職)                        |
| 副理事長         | 古 都 賢 一 | 自 平成27年 4月 1日<br>至 平成28年 3月31日 |       | 平成26年7月<br>国立病院機構本部企画役<br>平成27年3月<br>厚生労働省大臣官房付<br>平成27年4月<br>(現職)   |
| 理 事          | 梅 田 珠 実 | 自 平成25年10月 1日<br>至 平成27年 9月30日 | 医務担当  | 平成21年7月<br>国立病院機構本部医療部長<br>平成25年9月<br>厚生労働省大臣官房付<br>平成25年10月<br>(現職) |
| 理 事          | 山 口 正 隆 | 自 平成26年4月 1日<br>至 平成28年3月31日   | I T担当 | 平成20年4月<br>独立行政法人国立病院機構常勤<br>監事<br>平成26年4月<br>(現職)                   |
| 理 事<br>(非常勤) | 福 井 次 矢 | 自 平成26年 4月 1日<br>至 平成28年 3月31日 |       | 平成17年4月<br>聖路加国際病院院長<br>平成22年4月<br>(現職)                              |
| 理 事<br>(非常勤) | 梶 本 章   | 自 平成26年 4月 1日<br>至 平成28年 3月31日 |       | 平成20年4月<br>早稲田大学大学院客員教授<br>(元朝日新聞論説委員)<br>平成22年4月<br>(現職)            |
| 理 事<br>(非常勤) | 田 所 慶 一 | 自 平成26年 4月 1日<br>至 平成28年 3月31日 |       | 平成26年4月<br>仙台医療センター院長<br>平成26年4月<br>(現職)                             |
| 理 事<br>(非常勤) | 武 田 純 三 | 自 平成26年 4月 1日<br>至 平成28年 3月31日 |       | 平成26年4月<br>東京医療センター院長<br>平成26年4月<br>(現職)                             |
| 理 事<br>(非常勤) | 直 江 知 樹 | 自 平成26年 4月 1日<br>至 平成28年 3月31日 |       | 平成25年4月<br>名古屋医療センター院長<br>平成26年4月<br>(現職)                            |
| 理 事<br>(非常勤) | 楠 岡 英 雄 | 自 平成26年 4月 1日<br>至 平成28年 3月31日 |       | 平成19年4月<br>大阪医療センター院長<br>平成19年4月<br>(現職)                             |

| 職 名          | 氏 名     | 任 期                            | 担 当 | 経 歴                                                                                |
|--------------|---------|--------------------------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------|
| 理 事<br>(非常勤) | 中 川 義 信 | 自 平成26年 7月 1日<br>至 平成28年 3月31日 |     | 平成25年5月<br>四国こどもとおとなの医療<br>センター院長<br>平成26年7月<br>(現職)                               |
| 理 事<br>(非常勤) | 村 中 光   | 自 平成26年 4月 1日<br>至 平成28年 3月31日 |     | 平成22年4月<br>九州医療センター院長<br>平成24年4月<br>(現職)                                           |
| 理 事<br>(非常勤) | 久 部 洋 子 | 自 平成26年 4月 1日<br>至 平成28年 3月31日 |     | 平成25年4月<br>東京医療センター副院長<br>平成25年4月<br>(現職)                                          |
| 監 事          | 柴 田 一 眞 | 自 平成26年 4月 1日<br>至 平成28年 3月31日 |     | 平成25年10月<br>(株)損害保険ジャパン執行役員<br>東京保険金サービス部長<br>平成26年4月<br>(現職)                      |
| 監 事<br>(非常勤) | 小 野 高 史 | 自 平成26年 4月 1日<br>至 平成28年 3月31日 |     | 平成18年6月<br>東海旅客鉄道(株)執行役員<br>経済調査・医療担当<br>平成22年7月<br>東海旅客鉄道(株)顧問<br>平成16年4月<br>(現職) |

#### (5) 常勤職員の状況

常勤職員は平成27年1月1日において59,349人（前年比1,740人増加、3.0％増）となっています。

### 3. 財務諸表の要約

#### (1) 要約した財務諸表

##### ① 貸借対照表 ([http://www.hosp.go.jp/disclosure/disclosure\\_zaimu.html](http://www.hosp.go.jp/disclosure/disclosure_zaimu.html))

(単位：百万円)

| 資 産 の 部 | 金 額       | 負 債 の 部     | 金 額       |
|---------|-----------|-------------|-----------|
| 流動資産    | 260,956   | 流動負債        | 175,851   |
| 現金及び預金  | 54,326    | 一年以内返済長期借入金 | 38,037    |
| 有価証券    | 43,700    | 買掛金         | 35,982    |
| 医業未収金   | 151,045   | 未払金         | 58,841    |
| 棚卸資産    | 6,718     | 一年以内支払リース債務 | 5,189     |
| その他     | 5,166     | 引当金         | 28,695    |
| 固定資産    | 1,024,899 | その他         | 9,108     |
| 有形固定資産  | 1,005,579 | 固定負債        | 667,716   |
| 無形固定資産  | 17,022    | 長期借入金       | 376,645   |
| 投資その他資産 | 2,298     | 引当金         | 268,654   |
|         |           | リース債務       | 5,242     |
|         |           | その他         | 17,175    |
|         |           | 負 債 合 計     | 843,567   |
|         |           | 純 資 産 の 部   | 金 額       |
|         |           | 資本金         | 208,051   |
|         |           | 資本剰余金       | 222,526   |
|         |           | 利益剰余金       | 11,711    |
|         |           | 純 資 産 合 計   | 442,288   |
| 資 産 合 計 | 1,285,855 | 負債純資産合計     | 1,285,855 |

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

##### ② 損益計算書 ([http://www.hosp.go.jp/disclosure/disclosure\\_zaimu.html](http://www.hosp.go.jp/disclosure/disclosure_zaimu.html))

(単位：百万円)

| 科 目          | 金 額     |
|--------------|---------|
| 経常収益(A)      | 939,420 |
| 診療業務収益       | 905,302 |
| 教育研修業務収益     | 5,103   |
| 臨床研究業務収益     | 11,278  |
| その他経常収益      | 17,737  |
| 経常費用(B)      | 924,475 |
| 診療業務費        | 866,193 |
| 教育研修業務費      | 7,820   |
| 臨床研究業務費      | 13,331  |
| 一般管理費        | 27,665  |
| その他経常費用      | 9,466   |
| 臨時損益(C)      | △ 3,233 |
| 当期純利益(A-B+C) | 11,711  |

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

### ③キャッシュ・フロー計算書

([http://www.hosp.go.jp/disclosure/disclosure\\_zaimu.html](http://www.hosp.go.jp/disclosure/disclosure_zaimu.html))

(単位：百万円)

| 科 目                      | 金 額     |
|--------------------------|---------|
| I 業務活動によるキャッシュ・フロー(A)    | 74,184  |
| 診療業務活動によるキャッシュ・フロー       | 121,596 |
| 教育研修業務活動によるキャッシュ・フロー     | △1,214  |
| 臨床研究業務活動によるキャッシュ・フロー     | △1,875  |
| その他の業務活動によるキャッシュ・フロー     | △36,098 |
| 利息の受払額等                  | △8,225  |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー(B)   | △81,201 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー(C)  | △22,245 |
| IV 資金増加額(又は減少額)(D=A+B+C) | △29,262 |
| V 資金期首残高(E)              | 58,189  |
| VI 資金期末残高(F=D+E)         | 28,926  |

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

### ④行政サービス実施コスト計算書

([http://www.hosp.go.jp/disclosure/disclosure\\_zaimu.html](http://www.hosp.go.jp/disclosure/disclosure_zaimu.html))

(単位：百万円)

| 科 目                     | 金 額      |
|-------------------------|----------|
| I 業務費用                  | 11,235   |
| 損益計算書上の費用<br>(控除) 自己収入等 | 931,079  |
| (その他の行政サービス実施コスト)       | △919,844 |
| II 損益外減価償却相当額           | 490      |
| III 損益外除売却差額相当額         | 110      |
| IV 機会費用                 | 1,742    |
| V 行政サービス実施コスト           | 13,576   |

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

## (2) 財務諸表の科目

### ① 貸借対照表

#### 流動資産

現金及び預金  
有価証券

: 現金、預金  
: 譲渡性預金、1年以内に満期が到来する満期保有目的債券

医業未収金  
棚卸資産

: 医業収益に対する未収金  
: 医薬品、診療材料、給食用材料など

#### 固定資産

有形固定資産  
無形固定資産  
投資その他資産

: 土地、建物、医療用器械など  
: ソフトウェア、電話加入権など  
: 満期保有目的債券など

#### 流動負債

一年以内返済長期借入金  
買掛金

: 一年以内に返済期限が到来する長期借入金  
: 医薬品、診療材料、給食用材料にかかる未払債務

|                  |                                                                         |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 未払金              | : 上記（医薬品、診療材料、給食用材料）以外にかかる未払債務                                          |
| 一年以内支払リース債務      | : リース取引にかかる債務のうち一年以内に支払期限が到来する債務                                        |
| 引当金<br>（賞与引当金）   | : 支給対象期間に基づき定期的に支給する役員業績年俸及び職員賞与に対する引当金                                 |
| （損害補償損失引当金）      | : 医療賠償等による損害賠償の支払に備えて設定される引当金                                           |
| 固定負債             |                                                                         |
| 長期借入金            | : 財政融資資金                                                                |
| 引当金<br>（退職給付引当金） | : 将来支払われる退職給付に備えて設定される引当金                                               |
| リース債務            | : リース取引にかかる債務                                                           |
| 純資産              |                                                                         |
| 資本金              | : 政府による出資金                                                              |
| 資本剰余金            | : 国から交付された施設費や補助金等を財源として取得した償却資産及びその他の資産の損益外減価償却相当額の累計額又は損益外減損損失相当額の累計額 |
| 利益剰余金            | : 業務に関連して発生した剰余金の累計額                                                    |
| 繰越欠損金            | : 業務に関連して発生した欠損金の累計額                                                    |

## ② 損益計算書

|          |                                                                    |
|----------|--------------------------------------------------------------------|
| 診療業務収益   | 医業（入院診療、外来診療等）にかかる収益、診療業務にかかる運営費交付金・施設費等の交付額のうち資本剰余金へ振替しないもの       |
| 教育研修業務収益 | 看護師養成所等にかかる収益、研修受入にかかる収益、教育研修業務にかかる運営費交付金・施設費等の交付額のうち資本剰余金へ振替しないもの |
| 臨床研究業務収益 | 委託を受けて行う研究にかかる収益、臨床研究業務にかかる運営費交付金・施設費等の交付額のうち資本剰余金へ振替しないもの         |
| 診療業務費    | 医業（入院診療、外来診療等）に要する給与費、材料費、委託費、設備関係費（減価償却費を含む）など                    |
| 教育研修業務費  | 看護師養成所等にかかる給与費、経費（減価償却費を含む）、研修受入にかかる経費など                           |
| 臨床研究業務費  | 研究に要する給与費、材料費、経費（減価償却費を含む）など                                       |
| 一般管理費    | 本部組織にかかる給与費、経費（減価償却費を含む）、全役職員にかかる退職給付費用など                          |
| その他経常費用  | 長期借入金にかかる支払利息、振込手数料など                                              |
| 臨時損益     | 臨時利益：固定資産の売却益など<br>臨時損失：固定資産の除却損、医療賠償など                            |

## ③ キャッシュ・フロー計算書

|                      |                                        |
|----------------------|----------------------------------------|
| 業務活動によるキャッシュ・フロー     | 通常の業務の実施に係る資金の状態を表す                    |
| 診療業務活動によるキャッシュ・フロー   | 医業にかかる収入、医業を行うための人件費、医薬品等の材料費購入による支出など |
| 教育研修業務活動によるキャッシュ・フロー | 看護師養成所等にかかる授業料等の収入、看護師養成所等にかかる人件費の支出など |
| 臨床研究業務活動によるキャッシュ・フロー | 研究にかかる収入、研究を行うための人件費、材料費、経費の支出など       |
| その他の業務活動によるキャッシュ・フロー | その他の業務活動による収入、人件費支出など                  |

投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券の売却による収入及び取得による支出、定期預金の戻入による収入及び預入による支出、固定資産の取得による支出など

財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の借入による収入及び返済による支出、リース債務償還による支出など

④ 行政サービス実施コスト計算書

業務費用

損益計算書に計上される費用から国の財源によらない自己収入を控除したもの

損益外減価償却相当額、損益外減損損失相当額

その減価に対応すべき収益の獲得が予定されないものとして特定された資産の減価償却相当額または減損損失相当額

機会費用

国又は地方公共団体の財産を無償又は減額された使用料により賃借した場合に通常負担すべき額として試算した金額

## 4. 財務情報

### (1) 財務諸表の概要

#### ① 経常収益、経常費用、当期総損益、資産、負債、キャッシュ・フローなどの主要な財務データの経年比較・分析

(経常収益)

平成26年度の経常収益は939,420百万円と、前年度と比較して13,377百万円増(1.4%増)となっています。これは、前年度と比較して医業収益が17,829百万円増(2.0%増)となったことが主な要因です。

(経常費用)

平成26年度の経常費用は924,475百万円と、前年度と比較して30,112百万円増(3.4%増)となっています。これは、前年度と比較して診療業務費が30,536百万円増(3.7%増)となったことが主な要因です。

(当期総損益)

平成26年度の当期総損益は11,711百万円となり、前年度と比較して9,658百万円増(470.2%増)となっています。

これは、前年度と比較して固定資産減損損失が5,553百万円減(80.7%減)及びその他臨時損失が17,251百万円減(95.0%減)となったことが主な要因です。

#### (資産)

平成26年度末現在の資産合計は1,285,855百万円と、前年度末と比較して34,206百万円減（2.6%減）となっています。これは、前年度末と比較して現金及び預金等の流動資産が29,447百万円減（10.1%減）となったことが主な要因です。

#### (負債)

平成26年度末現在の負債合計は843,567百万円と、前年度末と比較して43,670百万円減（4.9%減）となっています。これは、前年度末と比較して長期借入金等の固定負債が22,074百万円減（3.2%減）となったことが主な要因です。

#### (業務活動によるキャッシュ・フロー)

平成26年度の業務活動によるキャッシュ・フローは74,184百万円の収入となり、前年度と比較して13,937百万円の収入減（15.8%減）となっています。これは、前年度と比較して診療業務活動の人件費支出が15,372百万円増（3.6%増）となったことが主な要因です。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

平成26年度の投資活動によるキャッシュ・フローは81,201百万円の支出となり、前年度と比較して54,792百万円の支出増（207.5%増）となっています。これは、前年度と比較して有価証券の取得による支出が115,600百万円増（43.3%増）となったことが主な要因です。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

平成26年度の財務活動によるキャッシュ・フローは22,245百万円の支出となり、前年度と比較して14,516百万円の支出減（39.5%減）となっています。これは、前年度と比較して長期借入れによる収入が11,571百万円増（99.8%増）となったことが主な要因です。

#### 主要な財務データの経年比較

(単位：百万円)

| 区 分               | 平成22年度    | 平成23年度    | 平成24年度    | 平成25年度    | 平成26年度    |
|-------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 経 常 収 益           | 879,575   | 891,551   | 908,455   | 926,043   | 939,420   |
| 経 常 費 用           | 821,265   | 845,786   | 858,630   | 894,363   | 924,475   |
| 当期総利益〔又は(△)損失〕    | 49,531    | △100,798  | 41,873    | 2,054     | 11,711    |
| 資 産               | 1,277,072 | 1,309,277 | 1,329,205 | 1,320,061 | 1,285,855 |
| 負 債               | 795,780   | 932,228   | 913,584   | 887,237   | 843,567   |
| 利益剰余金〔又は(△)繰越欠損金〕 | 84,287    | △42,110   | △237      | 1,817     | 11,711    |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー  | 116,032   | 109,569   | 103,782   | 88,121    | 74,184    |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー  | △89,936   | △59,603   | △101,452  | △26,409   | △81,201   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー  | △24,042   | △44,829   | △27,707   | △36,761   | △22,245   |
| 資 金 期 末 残 高       | 53,478    | 58,614    | 33,238    | 58,189    | 28,926    |

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

## ② セグメント事業損益の経年比較

(単位：百万円)

| 区 分         | 平成22年度  | 平成23年度  | 平成24年度  | 平成25年度  | 平成26年度  |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 診 療 事 業     | 73,294  | 61,655  | 65,049  | 51,764  | 39,108  |
| 教 育 研 修 事 業 | △1,442  | △1,402  | △1,387  | △2,713  | △2,717  |
| 臨 床 研 究 事 業 | △319    | △2,576  | △2,097  | △1,720  | △2,053  |
| 法 人 共 通     | △13,223 | △11,914 | △11,741 | △15,651 | △19,394 |
| 合 計         | 58,309  | 45,764  | 49,825  | 31,680  | 14,945  |

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

## ③ セグメント総資産の経年比較

(単位：百万円)

| 区 分         | 平成22年度    | 平成23年度    | 平成24年度    | 平成25年度    | 平成26年度    |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 診 療 事 業     | 1,057,118 | 1,078,315 | 1,099,394 | 1,141,548 | 1,143,685 |
| 教 育 研 修 事 業 | 31,927    | 30,618    | 31,253    | 29,863    | 28,553    |
| 臨 床 研 究 事 業 | 4,230     | 3,819     | 3,853     | 5,438     | 5,244     |
| 法 人 共 通     | 183,797   | 196,525   | 194,705   | 143,213   | 108,372   |
| 合 計         | 1,277,072 | 1,309,277 | 1,329,205 | 1,320,061 | 1,285,855 |

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

(注) 1. セグメントの区分については、独立行政法人国立病院機構法に定められている業務内容に基づき、「診療事業」、「教育研修事業」及び「臨床研究事業」に区分しています。

### 2. 事業の内容

「診療事業」

：安心で安全な質の高い医療や政策医療を提供するための事業

「教育研修事業」

：質の高い医療従事者（医師、看護師等）を養成・育成するための事業

「臨床研究事業」

：医療の質の向上に貢献するための研究、治験等の事業

④ 行政サービス実施コスト計算書の経年比較

平成26年度の行政サービス実施コストは13,576百万円と、前年度と比較して698百万円増となっています。これは、損益外減価償却相当額が15,641百万円増となったことが主な要因です。

行政サービス実施コストの経年比較

(単位：百万円)

| 区 分         | 平成22年度   | 平成23年度   | 平成24年度   | 平成25年度   | 平成26年度   |
|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 業 務 費 用     | △3,468   | 139,683  | △8,356   | 25,642   | 11,235   |
| うち損益計算書上の費用 | 830,725  | 993,584  | 866,823  | 924,394  | 931,079  |
| うち自己収入      | △834,194 | △853,901 | △875,180 | △898,752 | △919,844 |
| 損益外減価償却相当額  | 2,426    | 2,467    | 2,412    | △15,151  | 490      |
| 損益外減損損失相当額  | 61       | 153      | 236      | △700     | 0        |
| 損益外除売却差額相当額 | △56      | 1,165    | 9        | 330      | 110      |
| 機 会 費 用     | 4,955    | 4,012    | 2,389    | 2,757    | 1,742    |
| 行政サービス実施コスト | 3,918    | 147,480  | △3,311   | 12,879   | 13,576   |

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

(2) 重要な施設等の整備等の状況

① 当事業年度中に建替整備が完了した主要施設等

|          |                                                                                                                                                  |          |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 八戸病院     | <div> <div>一般</div> <div>(50床)</div> </div> <div> <div>重症心身障害</div> <div>(100床)</div> </div>                                                     | 1,310百万円 |
| 栃木医療センター | <div>一般</div> <div>(350床)</div>                                                                                                                  | 4,480百万円 |
| 宇都宮病院    | <div> <div>一般</div> <div>(90床)</div> </div> <div> <div>結核</div> <div>(30床)</div> </div> <div> <div>重症心身障害</div> <div>(100床)</div> </div>         | 2,711百万円 |
| 新潟病院     | <div> <div>一般</div> <div>(118床)</div> </div> <div> <div>重症心身障害</div> <div>(116床)</div> </div> <div> <div>筋ジストロフィー</div> <div>(116床)</div> </div> | 2,968百万円 |

② 当事業年度において建替整備中の主要施設等

全面建替整備 西群馬病院、富山病院、兵庫青野原病院、九州がんセンター  
 病棟等建替整備 岩手病院 他12施設

③ 当事業年度中に処分した主要施設等

な し

## (3) 予算及び決算の概要

(単位:百万円)

| 区 分      | 平成22年度  |         | 平成23年度  |         | 平成24年度  |         |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|          | 予 算     | 決 算     | 予 算     | 決 算     | 予 算     | 決 算     |
| 収 入      |         |         |         |         |         |         |
| 運営費交付金   | 43,682  | 43,682  | 36,202  | 36,202  | 28,623  | 28,594  |
| 施設整備費補助金 | 3,121   | 2,364   | 2,472   | 2,192   | 108     | 0       |
| 長期借入金等   | 49,184  | 17,200  | 32,186  | 10,000  | 34,087  | 25,000  |
| 業務収入     | 802,071 | 828,463 | 848,736 | 851,365 | 870,383 | 880,879 |
| その他収入    | 1,561   | 56,359  | 3,256   | 18,739  | 18,982  | 1,138   |
| 計        | 899,619 | 948,067 | 922,851 | 918,499 | 952,183 | 935,610 |
| 支 出      |         |         |         |         |         |         |
| 業務経費     | 739,054 | 744,369 | 765,521 | 767,591 | 791,853 | 796,656 |
| 診療業務経費   | 671,619 | 679,982 | 697,937 | 702,692 | 714,706 | 720,498 |
| 教育研修業務経費 | 6,691   | 6,283   | 6,641   | 6,136   | 6,246   | 6,061   |
| 臨床研究業務経費 | 9,988   | 10,671  | 10,852  | 10,747  | 10,906  | 11,282  |
| その他の経費   | 50,756  | 47,434  | 50,091  | 48,016  | 59,995  | 58,815  |
| 施設整備費    | 57,394  | 51,802  | 64,837  | 52,818  | 88,695  | 77,677  |
| 借入金償還    | 52,009  | 50,984  | 47,000  | 46,146  | 45,018  | 44,108  |
| 支払利息     | 11,064  | 11,905  | 10,867  | 10,378  | 9,603   | 9,031   |
| その他支出    | 8,056   | 86,951  | 8,567   | 36,428  | 9,094   | 33,513  |
| 計        | 867,576 | 946,012 | 896,792 | 913,362 | 944,264 | 960,987 |

| 区 分      | 平成25年度  |           | 平成26年度    |           |
|----------|---------|-----------|-----------|-----------|
|          | 予 算     | 決 算       | 予 算       | 決 算       |
| 収 入      |         |           |           |           |
| 運営費交付金   | 22,958  | 22,958    | 19,788    | 19,788    |
| 施設整備費補助金 | 0       | 146       | 0         | 0         |
| 長期借入金等   | 34,086  | 11,600    | 38,600    | 23,171    |
| 業務収入     | 896,614 | 900,181   | 913,748   | 917,715   |
| その他収入    | 40,138  | 98,954    | 62,800    | 11,859    |
| 計        | 993,797 | 1,033,839 | 1,034,935 | 972,533   |
| 支 出      |         |           |           |           |
| 業務経費     | 820,687 | 826,932   | 849,461   | 856,474   |
| 診療業務経費   | 745,611 | 751,339   | 771,316   | 780,005   |
| 教育研修業務経費 | 6,515   | 6,311     | 6,622     | 6,324     |
| 臨床研究業務経費 | 11,387  | 11,350    | 11,578    | 12,192    |
| その他の経費   | 57,174  | 57,931    | 59,945    | 57,953    |
| 施設整備費    | 112,258 | 99,899    | 128,954   | 86,641    |
| 借入金償還    | 41,391  | 40,021    | 38,432    | 37,932    |
| 支払利息     | 8,263   | 8,065     | 7,492     | 6,714     |
| その他支出    | 9,012   | 33,972    | 8,255     | 14,035    |
| 計        | 991,611 | 1,008,889 | 1,032,593 | 1,001,795 |

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

(4) 経費削減及び効率化に関する目標及びその達成状況

①経費削減及び効率化目標

当機構においては、当中期目標期間終了年度における一般管理費（人件費を除く）を、平成25年度に比べて、5%以上節減することを目標としました。このため、消耗器具備品等の経費縮減に引き続き努め、目標を達成しました。

②経費削減及び効率化目標の達成度合いを測る財務諸表等の科目（費用等）の経年比較

（単位：百万円）

| 区 分     | 平成25年度 |      | 当中期目標期間 |       |
|---------|--------|------|---------|-------|
|         | 金額     | 比率   | 平成26年度  |       |
|         |        |      | 金額      | 比率    |
| 一般管理費   | 567    | 100% | 536     | 94.5% |
| うち経費    | 484    | 100% | 460     | 95.0% |
| うち減価償却費 | 83     | 100% | 76      | 91.6% |

（注）計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

5. 事業の説明

（1）財源の内訳

当機構の経常収益は939,420百万円で、その内訳は、運営費交付金収益18,555百万円（収益の2.0%）、補助金等収益4,208百万円（収益の0.4%）、診療報酬等の自己収入916,658万円（収益の97.6%）となります。

## 国立病院機構の事業について

国立病院機構は、国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のために、たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに、患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し（診療事業）、質の高い臨床研究（臨床研究事業）、教育研修（教育研修事業）を推進している。

その事業内容は、以下のとおりである。

### 事業内容

#### 診療事業

- ① 患者の目線に立った安心・安全で良質な医療の提供
- ② 危機管理の観点から、大規模災害や感染症発生時に、病院ネットワークを活用して確実に対応
- ③ 他の設置主体では必ずしも実施されない医療の提供（セーフティネットとしての機能の発揮）
- ④ 医療計画等（５疾病５事業及び在宅医療）に対応し地域のニーズにあった医療の提供
- ⑤ 在宅医療との連携など地域包括ケアシステムへの貢献

#### 臨床研究事業

- ① 病院ネットワークを活用した診療情報の収集・分析と情報発信機能の強化
- ② 科学的根拠に基づく医療（EBM）を提供するための大規模臨床研究の推進
- ③ 迅速で質の高い治験の推進
- ④ 先端的医療機関との研究協力・連携し先進医療技術の臨床導入を推進
- ⑤ 臨床研究や治験に従事する人材の育成

#### 教育研修事業

- ① 病院ネットワークを活用した独自のプログラムに基づく質の高い医療従事者の育成
- ② 医師、看護師のキャリアパスの充実を図るとともに、チーム医療に貢献できる高度な専門性をもったメディカルスタッフの育成
- ③ 地域医療に貢献する医療従事者等に対する研修事業の実施

## 平成26年度の主な実績

平成26年度の主な実績については、以下のとおりである。

### 診療事業

#### (医療の提供)

##### ○患者満足度の向上

- ・本年度も患者満足度調査において高評価を獲得した。

##### ○医療安全対策の充実

- ・病院間における医療安全相互チェック実施要項を改訂し、全国49病院で相互チェックを実施した。
- ・25年度の相互チェックから改善事例を作成し、各病院に周知した。
- ・「院内感染対策に関する専門委員会」を設置し、国立病院機構内院内感染報告制度の設置に向けての検討及び取りまとめを実施した。
- ・医療安全等に資するため及び後発医薬品の使用をさらに推進するために、検討会を開催し、全面的に標準的医薬品リストを改訂した。

##### ○臨床評価指標を用いたPDCAサイクルによる医療の質の向上

- ・現行の87指標について全て検証・修正を行うと共に、新たに医療安全やチーム医療の視点、EBM推進のための大規模臨床研究の研究成果も取り入れた指標を開発し、115指標へと拡大した。
- ・「医療の質向上委員会」の活動に必要なノウハウを蓄積すべく、モデル病院を6病院選定し、医療の質改善のための取り組み手法や成果をとりまとめ、全病院で水平展開するためのガイドライン作成に着手した。

##### ○クリティカルパスの実施

- ・チーム医療の推進・分かりやすい説明を行うために、クリティカルパスを積極的に活用した。

#### (国の医療政策への貢献)

##### ○危機管理に際して求められる医療の充実

- ・災害発生に対応するため、多くの訓練や研修の実施、DMAT隊員の育成等を行い、災害発生時には医療支援を実施した。
- ・新型インフルエンザ等の発生時の医療体制を確認するための訓練を実施した。
- ・エボラ出血熱に係る対応訓練等を関係機関とともに実施した。

##### ○セーフティネット分野の医療の確実な提供

- ・病床シェアは、結核34.9%、重症心身障害児(者)38.0%、筋ジストロフィー95.7%、心神喪失者等医療観察法52.1%となっており、セーフティネットとしての機能を

担った。

#### ○重点課題に対応するモデル事業等の実施

- ・豊富な診療現場を活用し、高度な看護実践能力からスキルミックスによるチーム医療を提供できる、診療看護師の育成に取組みを実施した。
- ・厚生労働省の「特定行為研修制度における手順書活用事業」に3病院が参加した。
- ・重症心身障害児（者）とその家族が地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活支援の向上を目的とした厚生労働省のモデル事業に2病院の計画案が採択され実施した。
- ・後発医薬品の数量シェアは平成25年度の58.0%から平成26年度は66.4%（対25年度+8.4ポイント）に上昇した。

#### ○エイズへの取組

- ・ブロック拠点病院を中心に中核拠点病院との連絡会議を開催し、研修の実施等を通じた連携を図ることで、引き続きHIV感染症医療の均てん化を推進した。

#### （地域医療への貢献）

##### ○地域医療への取組

- ・医療計画に5疾病5事業及び在宅医療の各分野の実施機関として位置づけられ、医療機能を発揮することで、地域医療への取組を推進した。
- ・各都道府県における医療連携体制について検討・討議するために設置された委員会等へ積極的に参加した。
- ・地域の医療機関が一体となり、大腿骨頸部骨折、脳卒中、がん等の地域連携クリティカルパスを実践し、地域完結型医療の実現に貢献した。
- ・紹介率、逆紹介率の向上に努めており、紹介率は67.4%（対25年度+2.7ポイント）、逆紹介率は54.6%（対25年度+2.0ポイント）であった。
- ・救急・小児救急患者の受け入れ数及び救急受診後の入院患者数が増加した。

##### ○在宅医療との連携など地域包括ケアシステムへの貢献

- ・在宅医療や地域包括ケアに関わっていくために、「在宅医療を考える会」を立ち上げ、内外の有識者の講演を含め6回開催した。
- ・在宅患者の急性増悪時の入院やレスパイト入院に対応するため在宅医療機関との連携を充実した。平成26年度、新たに在宅療養後方支援病院を14病院、地域包括ケア病棟（病床）を12病院が取得した。
- ・在宅療養患者に対して、地域ニーズに応じて訪問診療、訪問看護を実施した。

## 臨床研究事業

### ○EBM 推進のための診療情報分析

- ・全 143 病院を分析対象として、国立病院機構内病院との比較や地域の病院との比較など、より多角的な視点で診療機能分析を行い、結果を解説編とともに公表した。

### ○研究成果の情報発信

- ・英語原著論文掲載数が前年度から増加した。
- ・高いモチベーションを持って臨床研究に取り組めるよう、国立病院機構優秀論文賞を創設し、表彰を実施した。

### ○迅速で質の高い治験の推進

- ・治験実施症例数が前年度から増加した (4,794 例 (対 25 年度 +587 例 +13.9%)。
- ・治験等受託研究の経理・症例の登録状況と各病院の治験の進捗状況の管理を一元化した治験管理システムを構築し、平成 26 年度より運用を開始した。

### ○臨床研究に精通した人材の育成

- ・CITI Japan 教育研修プログラムを活用し、研究者、CRC、倫理審査委員会委員等を対象とした e-learning による研究倫理等の教育を実施した。

### ○独立行政法人理化学研究所や京都大学 iPS 細胞研究所との連携・協力

- ・理化学研究所との先端医科学・医療分野に関する包括的な連携協定に基づき、NKT 細胞治療の臨床研究を推進し、平成 26 年度より先進医療として実施した。さらなる症例登録を集積するため、協力医療機関を追加した。
- ・京都大学 iPS 細胞研究所と合意書を締結し、iPS 細胞を用いた難治性疾患等の病因等の解明や治療の開発のため症例登録を推進した。

## 教育研修事業

### ○新しい専門医制度への対応

- ・新内科専門医取得の支援として、JMECC を開催するための指導医を養成する研修を新設した。

### ○NHQフェローシップ

- ・機構病院内の若手医師がスキルアップや専門医取得を目的として他の病院で一定期間修練する制度を 4 病院で実施した。

### ○附属看護学校の看護師国家試験

- ・国家試験合格率は全国平均より高い実績をあげた (99.0% (全国平均 95.5%))。

### ○診療看護師(JNP)の育成

- ・豊富な診療現場・人材を活用し、高度な実践能力を持ちスキルミックスによるチーム医療を提供できる診療看護師(JNP)の育成に取り組み、平成26年度は、43名が診療看護師研修病院に指定した19病院で活動した。

### ○チーム医療の推進のための研修の実施

- ・医療観察法に係る先駆的な医療の導入や医療安全のためのリスクアセスメント等について、具体的な事例も基に他職種によるディスカッションを通じて、関係職種の資質向上を図ることを目的とした医療観察法(MDT)研修を新設した。
- ・小児救急医療の重要性や社会的要望の増大に伴い、地域単位の連携・共同を推進し、知識・技能・対応能力の向上を図ることを目的としたチームで行う小児救急・成育研修を新設した。

### ○地域医療に貢献する研修の実施

- ・各病院が研修ニーズを把握し、地域での研修を積極的に開催し、医療情報発信に貢献した。

## 業務運営等の効率化

### (効率的な業務運営体制、効率的な経営の推進と投資の促進)

#### ○投資の促進と効率化

- ・個別病院ごとに業務キャッシュフロー・投資キャッシュフロー・財務キャッシュフローを一体に捉えた5カ年の資金計画を作成し、資金の状況及び償還期間の見直しを行った上で、全面建替2病院580床、病棟建替6病院1,356床、外来等建替8病院の建替整備を決定した。
- ・既存の施設を有効活用し、投資額を抑制する観点からストックマネジメントの手法を各病院に周知した。

#### ○調達の効率化(共同購入の実施、使用医薬品の標準化、後発医薬品の利用促進)

- ・大型医療機器について労働者健康福祉機構と、検査試薬は国立高度専門医療研究センターと、医薬品については両法人と共同購入を実施した。
- ・医療安全等に資するため及び後発医薬品の使用をさらに推進するため、検討会を開催し標準的医薬品リストを全面的に改訂した。
- ・後発医薬品の採用率は、新算定式による数量ベースで66.4%(対25年度+8.4ポイント)、となった。

#### ○医業未収金への取組

- ・回収の遅延している医業未収金については、平成25年度と比べて約1.2億円減少した。

- ・債権管理の IT 化の推進を図るため、医業未収金管理システムの導入を決定し、平成 28 年度早期稼働に向けて、仕様書の作成・業務フローの見直しを検討した。

#### ○本部経営分析部門と病院の事務部門との連携強化

- ・周辺環境や内部環境、経営状況等を分析するための各種分析手法をツール化し、各病院へ提供した。
- ・経営分析や経営戦略能力の向上のため、病院経営戦略能力向上研修を実施し、経営分析手法を共有した。

#### ○会計監査人による監査の実施

- ・会計監査人による監査を全 143 病院に実施した。

#### ○QC 活動の活性化

- ・応募件数が前年度よりも増加した（279 件（対 25 年度 +13 件 +4.9%））。

### 予算、収支計画及び資金計画

#### （経営の改善等）

##### ○経常収支

- ・新規患者の増加や新たな施設基準の取得による診療収益の増加等経営改善に向けた努力を積極的に実施した結果、必要な投資を行いつつ、経常収支は 149 億円、経常収支率は 101.6%となり収支相償以上を維持した。

##### ○個別病院毎の経営改善計画の実施

- ・減価償却前収支がマイナスとなり、運営費相当の借入金に依存せざるを得ない病院、または経常収支率 100%未満の病院を対象に、病院改革による経営の再建、改善を図ることを目的とした「機構病院リスタートプラン」を実施した結果、平成 26 年度は、7 病院が経常収支プラスに転換した。

##### ○医療機器、建物への投資

- ・707 億円の投資を行った（医療機器整備投資額 264 億円 施設整備投資額 443 億円）。

### その他主務省令で定める業務運営に関する事項

#### （人事に関する計画、広報に関する事項）

##### ○技能職の削減

- ・前年度から 133 名の削減を行った。

**○職場環境・医療ニーズの変化に応じた研修の実施**

- ・新たに病院経営戦略能力向上（階級別）研修Ⅰ・Ⅱ、上級者臨床研究コーディネーターを対象にした研修、チーム医療研修を実施した。

**○患者の QOL の向上のための療養介助職の配置**

- ・70 病院で 1,226 名を配置（対 25 年度 +72 名）した。

**○広報**

- ・総合パンフレットやホームページ活用等による、積極的な広報・情報発信を実施した。

予 算 ・ 決 算 の 概 況  
(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

| 区 分      | 予 算 額             | 決 算 額             | 差 額              | 備 考                                              |
|----------|-------------------|-------------------|------------------|--------------------------------------------------|
| 収入       |                   |                   |                  |                                                  |
| 運営費交付金   | 19,787,590,000    | 19,787,590,000    | 0                |                                                  |
| 長期借入金等   | 38,599,999,824    | 23,171,000,000    | △ 15,428,999,824 | 工事の進捗の遅れにより、借入を翌年度に繰り越したこと等による                   |
| 業務収入     | 913,747,542,301   | 917,715,299,255   | 3,967,756,954    | 新入院患者数及び診療単価が増加したこと等による                          |
| その他収入    | 62,800,000,000    | 11,859,440,769    | △ 50,940,559,231 | 資金運用の戻入を行わなかったことによる                              |
| 計        | 1,034,935,132,125 | 972,533,330,024   | △ 62,401,802,101 |                                                  |
| 支出       |                   |                   |                  |                                                  |
| 業務経費     | 849,460,514,475   | 856,473,960,692   | 7,013,446,217    |                                                  |
| 診療業務経費   | 771,315,573,335   | 780,004,682,991   | 8,689,109,656    | 給与費が計画より増加したこと等による                               |
| 教育研修業務経費 | 6,622,174,019     | 6,323,688,343     | △ 298,485,676    | 経費を計画より削減したこと等による                                |
| 臨床研究業務経費 | 11,577,782,508    | 12,192,166,084    | 614,383,576      | 経費が計画より増加したこと等による                                |
| その他の経費   | 59,944,984,613    | 57,953,423,274    | △ 1,991,561,339  | 給与費を計画より削減したこと等による                               |
| 施設整備費    | 128,953,726,262   | 86,640,519,745    | △ 42,313,206,517 | 契約コストの削減及び工事の進捗の遅れ等により、整備費の年度内の支払額が計画より減少したことによる |
| 借入金償還    | 38,432,312,546    | 37,932,312,546    | △ 500,000,000    | 借入の減による                                          |
| 支払利息     | 7,491,642,668     | 6,714,199,219     | △ 777,443,449    | 借入の減による                                          |
| その他支出    | 8,254,668,829     | 14,034,753,314    | 5,780,084,485    | 資金運用の預入による                                       |
| 計        | 1,032,592,864,780 | 1,001,795,745,516 | △ 30,797,119,264 |                                                  |

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。